

H21年度総合評価(笠原振興課、市民文化課、緑化公園課、教育総務課所管施設)

施設名	笠原中央公民館	図書館笠原分館	笠原運動公園	笠原体育施設
指定管理者名	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団	(財)多治見市文化振興事業団
指定期間	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)	3年(H20/4/1～H23/3/31)
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	期待以上	良好	期待以上
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	期待以上	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	期待以上	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入			130,926,782
	内利用料金収入			11,502,980
	内指定管理料			105,118,000
	支出			127,344,728
	収支			3,582,054
市民利用者の声の反映	良好	良好	—	良好
全体的評価	期待以上	良好	良好	期待以上
	・前年度に引き続き多彩な事業を展開し、利用者の裾野の拡大に寄与した。 ・笠原地域出身者、縁のある者の公演、企画、笠原地域の学校が取り組む課題と連携した事業を実施し、笠原地域独自の特色ある事業を展開した。 ・従来の高齢者向け講座を全ての年齢層が参加できるようにし、高齢者には割引を適用する等、柔軟な講座展開を行うことにより、参加者の拡大を図った。 ・「あしすと」の配布対象地域拡大、アザレアホールの看板を設置する等、広報、宣伝を積極的に行った。 ・積極的に修繕、備品購入を行っており、利用者の安全性の確保、利便性の向上に寄与した。	・貸出人数、貸出冊数ともに平成20年度と比べて増加した。 ・中央公民館内の誘導方法に工夫を凝らすなど案内を充実したり、体育館内にスポーツ関連図書コーナーを設置して図書館利用促進を図った。 ・笠原町に馴染みのある展示を行い町民に好評であった。 ・実施した事業等を紹介した新聞記事等が年次報告書に添付され充実された。	概ね良好である。	・指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努め、ニーズにあった事業の展開に心掛け、苦情にも真摯に対応しており、利用者からの評判も良い。また、職員研修も積極的に行っており、利用者とのコミュニケーションにも努めている。 ・利用者、利用率、利用料金収入等も引き続き順調に増加している。 ・修繕についても、指定管理者として利用者へのサービスを第一に考え対応が早い。 ・トレーニングマシンを一新し、利用者数の大幅な増加につながった。
利用人数・前年度比増減率	延べ37,563人 (前年度比0.1%増)	延べ10,374人 (前年度比17%増)	—	延べ114,830人 (前年度比15.2%増)
増減の理由	施設全体の稼働率は概ね上昇したものの、1件あたりの平均利用者数が下がったため、トータルではほぼ横ばいの結果となった。	子どもの本ガイドブックコーナーの設置や館内誘導、案内の充実を図ったことで利用者が増加し、貸出冊数も増加したものの	とくになし。	向島運動広場、テニスコートを除き、他の施設では概ね利用率が向上したことによる。また、トレーニング室については、有酸素系マシンを入れ換えたこと、短時間講習制度を設け、総合体育館との相互利用を促進したため利用が伸びたと考えられる。